

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1173100429		
法人名	株式会社SOYOKAZE		
事業所名	熊谷ケアセンターそよ風		
所在地	埼玉県熊谷市中央5-5-16		
自己評価作成日	令和5年12月12日	評価結果市町村受理日	令和6年2月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号
訪問調査日	令和5年12月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

自社では「食」に力を入れており、昼食は厨房職員が作り「特別メニュー」や「美食まつり」など提供しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

・常に入居者の気持ちに立ち、「外に出たい」という希望に応じて、散歩やコスモ見学、外食など、感染対策をしながら支援に努められている。また、事業所内でも、入居者の不安に対応して、職員間での話し合いを行い、座席への配慮や歩行訓練などを実際に行ってみよう取り組み、改善のための意見や提案が取り入れられている。
 ・運営推進会議は、定期的実施され、参加者それぞれの立場から意見や質問が出され、事業所運営にも活かされている。今後は開催日の変更などの工夫を図り、参加者を増やしていくことが検討されている。
 ・目標達成計画の達成状況についても、地域との関わりをより深めることに取り組み、近隣の看護学校の学生の研修の受け入れや、運営推進会議やイベントへの参加を地域の方へ呼び掛けることで認知症について地域の人たちに理解をいただき、関わりが持てるよう取り組みが検討されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見ると、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見ると、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている	職員は理念に基づき支援できるように実施しております。	入居者に丁寧に接すること、そばに寄り添うことで、「笑顔」のある生活を楽しんでいただく支援に取り組まれている。企業理念は玄関や事務所内、トイレなどに掲示され、職員が常に意識を向けることができるように心がけられている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティアや看護学生の体験学習など受け入れており、交流を図っております。	コロナ感染予防対策上、地域とのつきあいは制限されているが、散歩時の挨拶などは日常的に行われている。また、近隣の看護学生の研修を受け入れ、事業所看護師が行うケアについて見学をいただくなど地域貢献にも取り組まれている。	地域とのつきあいや関わりを深めることは大切と想定されることから、認知症について地域の人たちに理解をいただき、関わりが持てるよう取り組まれることに期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	急な来所など対応しております。また電話相談なども丁寧に説明できるよう心がけております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中では活動報告をしております。また面会時にはご家族様の意見を頂くようにしております。	運営推進会議では、家族や地域包括支援センター職員に参加を頂き定期的を実施され、それぞれの立場から意見や質問が出されている。今後は開催曜日の変更などの工夫を図り、参加メンバーを増やしていくことが検討されている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政には運営状況や空室状況を伝えております。	日常的には、介護保険の運用や提出書類について質疑がなされている。地域包括支援センターからはオレンジカフェの開催や地域の情報交換も行われ、また、市とはコロナワクチン接種などメールを中心に情報共有が図られている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3ヶ月おきにチェックシートを利用して確認をしております。またセンター内での研修も行っております。	身体拘束や虐待については、チェックシートを用いた研修が行われ、「ちょっと待って」などの言葉使いにも問題意識を持つよう取り組まれている。また、ヒヤリハットへの意識を高め、事故を防ぐケアのレベルアップにも努められている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に注意出来る環境に努めております。見て見ないふりをしないよう心がけております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人がいる入居者様は3名おりますが、「利用状況報告書」などで報告しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては丁寧に説明し理解してもらえるように努めております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来所時や電話などで意見をうかがうようにしております。また職員間でもその情報を共有出来るように努めております。	入居者からは食への要望が多く、月に一度希望のお昼を提供されている。家族とは傾眠傾向のある入居者への面会時間を相談して変え、様子を見ていただくなどの取り組みがなされ、医療からの情報なども逐次伝えられている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議等にて職員の意見を取り入れるように努めております。	「職員都合の介護はしない」、「サービス業の意識を持つ」などが毎月、ミーティングで話し合わせ、職員からの意見も取り入れられている。職員同士で考えが一致しなくても、お互いに協力し合いながらケアに努められている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	希望休を聞きシフト作成をしております。また職員の労働環境がよくなるように努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	センター内にて毎月研修を行っております。また社内研修も毎月行っており、参加出来るように努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業部ごとに毎月協議会を行って情報共有に努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人、ご家族様の希望を聞き、取り入れ安心して生活出来るように努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様からの相談があれば常に丁寧に対応出来るよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	出来る限りその状況に応じて支援出来るように対応させて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の出来る事を見極め一緒に行うように努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	「利用状況報告書」を毎月ご家族様に報告しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人などの急な来所などでもいつでも対応出来るように努めております。	友人、知人の訪問時には玄関で会っていただき、旧交を温められている。また、昔ながらのうどんを作り、汁は自分が昔作っていた物を取り入れたり、ラジオ体操や懐かしい歌を楽しむなど、馴染みのことを忘れないよう支援が行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が調整を行い席場所などを支援しております。また入居者様が参加出来る事を取り入れております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了後も必要に応じて電話等にて対応しております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の生活リズムを崩さぬように努めております。また職員間での情報の共有に努めております。	入居者の気持ちや生活のリズムを大切に、就寝時間などもその人に合わせるなど、思いや意向に沿った支援がなされている。また、職員が「自分を知ってもらおうこと」、「これまでの生活はどうだったか」などをきっかけにしながら対応されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様、本人から生活歴をうかがっております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活リズム、環境の変化など職員間での情報の共有に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族様の想いを反映出来るよう介護計画を作成しております。	入居者・家族の要望、医療からの情報、援助方針などが個々の状況に応じて詳しく記載されている。更に、課題、目標、サービス内容に一貫性が見られ、担当者、頻度、期間が週間計画にも取り込まれたケアプランが作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルにて食事、水分量、排泄状況、身体状況など記録して職員間で情報の共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院や受診など送迎をしたり必要な支援も対応出来るように努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議にて地域包括支援センターの方々と意見交換をしております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診があり、その都度ご家族様へ報告をしております。	日常的には協力医の往診で対応され、変化等があれば、電話で状況を伝え診ていただくことができ、安心感を得られている。診察結果は記録に残され、職員全員が必ず目を通して確認印を押すなど、周知が図られている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	夜勤専門職員に准看護師が2名おり、常に共有し相談をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には必要な医療情報を提供しております。退院時にご家族様、病院からの情報をいただき支援できるように努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りは行っていないので可能な限り介護提供出来るように努めております。	重度化や終末期に際しては、入居の時から説明がなされ、その後も状況が変わるごとに医師を通して話が行われている。入居者・家族の意向を踏まえて、協力医との連携を図り、事業所としてできる限りのケアに努められている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変に対する研修を行っております。夜間の連絡体制もあり、状況にあわせて対応しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	センターとして年2回の防災訓練を行っております。	事業所の環境から、火災を想定した訓練がメインに行われている。通報者をその都度変えたり、避難方法や経路、場所なども確認され、更に、職員連絡網を事業所に近い順に変更するなど、細やかな対策が取られている。	様々な工夫を凝らした災害対策が取られていることから、災害発生時、職員が何をするのかを自覚できるよう訓練を通して習慣化、平準化を図る取り組みに期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の気持ちに添えるように努めております。	基本的なプライバシーには気を配り、相手の気持ちを考えた発言や居室内での排泄介助時のドアを閉めることなどは厳しく指導されている。また、朝の起床、夜の就寝時間にもその方の習慣に合わせて尊重するよう取り組まれている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食べ物などで食べたい物を月1~2回行事食として提供しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	1日の流れは決まっているが本人のペースに合わせて、食事を時間差を作り提供しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を利用しております。本人の希望の身だしなみを出来るよう支援しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は厨房職員が作ったものを提供しているが、日曜日は職員で作れ、おやつなども楽しめるよう提供しております。	厨房との協力で「美食まつり」のイベントが開催され、日常とは違った食事が提供されている。また、グループホームで入居者が食べたい物を作ることもあり、パスタソースを何種類も作り、希望で選んでいただいたり、外食レクリエーションなども楽しまれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は職員間で共有しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後自分で出来る方には誘導しております。口腔ケアが必要な方には介助しております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を利用し排泄のリズムを把握できるよう努めております。	トイレでの排泄を中心に支援がなされ、失禁しないよう声をかけるなどの取り組みが行なわれている。また、極力オムツに頼らないケアにも努められ、常に丁寧な対応を行い、家族の経済的負担を減らせるよう取り組まれている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	1日1ℓ以上の水分の提供と、朝食にはヨーグルトの提供を行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者様の希望に合わせて対応しております。	入浴時間、同性介助の希望などは入居者の意向に合わせて、個浴で週2回を基本に支援がなされている。プライバシーにも気を配り、自立の入居者にはやれることはやっていたが、そばで見守り、また、ヒートショック対策も行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間帯はよく眠れるよう日中に体操やレクリエーションなどを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方せんを個人ファイルに閉じており、いつでも見られるようにしております。また誤薬がないようダブルチェックをしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの生活歴を確認して楽しんで頂けるよう努めております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	なかなか外出レクリエーションが出来ず申し訳ないと思っております。職員体制を整えいつでも出来るように努めております。	制限を出来るだけ減らすよう取り組まれ、外に出て散歩や外気浴などの頻度が増やされている。また、車を使ってコスモスを見に出かけたり、ファミリーレストランに外食に出るなど入居者・家族の要望にも応えながら支援に努められている。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に職員と一緒に出かけ、本人が支払いが出来るよう支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望により事務所の電話を使用し、お話が出来るように行っております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掲示物を変えながら季節を感じて頂けるよう努めております。	共用空間には入居者が自然に集まり、テレビを視たり世間話をしたり、他ユニットの入居者に会いに行くなどの交流も図られている。毎月季節に合わせた装飾も飾られ、生活の場として安心して過ごせるよう支援がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを3台置いており、いつでも自分のペースで利用して頂くよう努めております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様にも協力してもらい、慣れた物や大切にしていた物などを配置しております。	使い慣れた家具やお気に入りのぬいぐるみ、クッション、写真などが飾られ、自宅と同じ雰囲気になるよう支援がなされている。また、居室内では入居者が自由にテレビを視たり、読書をするなど、それぞれの習慣も大切にされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	福祉用具などは業者と話し合い相談し、その人に合ったものを利用して頂くよう努めております。		

(別紙4(2))

事業所名: 熊谷ケアセンターそよ風

目標達成計画

作成日: 令和6年2月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	職員のチームワークが取れていない	オンリーワンのチーム作り	・コミュニケーションを増す ・業務統一	3ヶ月
2	23	個別ケアがあまり出来ていない	入居者に合った個別ケアを行うこと	本人の希望も聞き職員が考え出来る事を準備する	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。